

札幌市ひとり親家庭等自立促進計画作業WGの決議状況について（中間報告）

1 作業WGの審議内容

札幌市ひとり親家庭等自立促進計画の一部改定に関する事項について審議する。

2 令和5年度上期の開催状況

(1) 第1回作業WG

- ア 開催日時 令和5年6月30日（金）10：00～11：00
イ 場 所 大通バスセンタービル局会議室（WEB会議）
ウ 出席委員 加藤 弘通（議長）、箭原 恭子（副議長）、
猪狩 ふみの、椎木 仁美、村山 光明【敬称略】
エ 審議内容 ひとり親の現状と課題について
オ 議 題 ① 国勢調査等各種統計調査のまとめ
② ひとり親アンケート調査結果の報告
カ 主な意見

<全体>

- ・ 調査結果から、父子家庭が孤立しがちであることなど、母子・父子世帯それぞれの特徴が明らかになっており、それを踏まえた支援が必要ではないか。
- ・ これまでのひとり親家庭支援は就業支援の側面が強かった。これからは今の仕事を続けるための支援、子育てと仕事の両立への支援が重要になってくるのではないか。
- ・ 最初に相談した時にどういう対応をされたかが今後にも影響を与える可能性があるため、親身な対応をすることが重要ではないか。
- ・ 体調を崩した際に頼れるところを整備するなど、ひとり親家庭が孤立しないような支援が必要ではないか。

<広報>

- ・ 自分に当てはまる支援制度にどのような物があるかについて、簡単にわかるフローチャートのようなものが必要ではないか。
- ・ 当事者がどのようなところに不便を感じるかヒアリングする等、意見を聞いて改善していくことも必要ではないか。

＜子どもの進学等＞

- ・ 勉強以外にも幅広い経験を積めるような取り組みが必要ではないか。
- ・ 早い段階から、子の進学費用について考える場を作ることが重要ではないか。

＜養育費・面会交流＞

- ・ 養育費・面会交流について、より踏み込んだ支援が必要ではないか。

(2) 第2回作業WG

- ア 開催日時 令和5年9月7日（金）（書面開催）
- イ 出席委員 加藤 弘通（議長）、箭原 恭子（副議長）、大場 信一
椎木 仁美、藤原 里佐、猪狩 ふみの、村山 光明【敬称略】
- ウ 審議内容 一部改定版（素案）の確認
- エ 議 題 第1回WGの審議内容をふまえて作成した素案について
- オ 主な意見 孤立リスクの高い父子家庭に対する支援の充実について他

(3) 第2回WGのご意見を踏まえた計画素案の修正

No	該当ページ	修正内容
1	P.9	グラフ中の母子世帯の定義について補足 生活保護受給世帯においては <u>18歳未満</u> の子がいる世帯
2	P.13	表中の母子世帯の定義について補足 上記以外の母子世帯の定義は <u>20歳未満</u> の子がいる世帯
3	P.18	「(5) 病気等のときに身の回りの世話を頼む相手」について補足 修正前) 病気等のときに身の回りの世話を頼む相手 修正後) 病気等のときに <u>自分自身や子どもの身の回りの世話を頼む相手</u>
4	P.19	父子家庭の孤立リスクについて課題に追記 〔 <u>父子家庭では、母子家庭・寡婦に比べて相談相手がいない人の割合が高く、孤立するリスクが高いと考えられるため、父子家庭に向けた効果的な広報を検討する必要があります。</u> 〕

3 今後の予定

次回12月頃を目途に事業内容を取りまとめた最終案について作業WGでご審議いただく予定。